

雪がた

豊科病院 広報誌

令和 7 年 2 月 10 日 発行

発行者 豊科病院広報文化委員会

〒399-8205

長野県安曇野市豊科 5777-1

Tel : 0263-72-8400

URL <http://www.shironishi.or.jp/>

豊科病院の理念

自他を問わず人間を愛し、慈しむ心を礎に、病める人、障害を持つ人、悩める人に常に自分の家族に接するように優しく接し、最良の医療・福祉サービスを提供し、地域の人々の要求及び個別的な要求にも応え、地域で人々が快適に生活できるような支援を行う。

令和7年新年式

心新たに

1月4日に、豊科病院と老人保健施設安曇野メディア合同の新年式が開催されました。

関理事長・総長から以下の訓示がありました。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

医療界では2025年を目標として、地域医療構想調整会議が、地域における医療機能の分化・連携の構図を確定するという目標を掲げ、会議を繰り返し、全国的にはその目標を達成した。そして次は2040年を目標として新たな地域医療構想を策定すべく、検討が始まっている。

今度は、病院機能の分化だという。中央での検討会はずいぶん前から始まっており、吾々を代表して四病協（日本病院会、全日本病院協会、日本医療法人協会、日本精神科病院協会：いずれも当法人は会

員）からも夫々委員が参加している。

2040年の地域医療構想では、基本的な考え方として、①外来・在宅・介護との連携、人材確保等を含めたあるべき医療提供体制の実現に資するよう策定・推進、②新たな構想を医療計画の上位概念に位置付け、医療計画は新たな



訓示する関 理事長・総長

告できるという。

我々の法人の目指すところは、②在宅医療等連携機能および④専門等機能であろう。昨年城西病院は、「在宅・訪問診療センター」を立ち上げた。専任の医師を配したが、今年はチームで展開できるように看護師・ロジスティクス（事務及び運転業務）を配し、在宅での検査（心電図・超音波検査等）も行えるよう設備も整える。外来患者の高齢化が進んでおり、訪問診療の需要は増している。専任医師だけでなく、外来担当医もアウトリーチを行う。リハビリテーションもアウトリーチを行う。そして、これらの高齢者の急変時は確実に入院医療を提供する。こうした当たり前の医療を私どもは提供していく必要がある。職員各々の覚醒を期待する。

構想に即して具体的な取組を進める、となっている。2025年の地域医療構想では、病床機能を中心に策定されてきたが、2040年の地域医療構想では、これまでの「回復期機能」について、その内容に「高齢者等の急性期患者への医療提供機能」を追加し、「包括期機能」として位置づけた。医療機関機能の都道府県への報告が義務付けられ、構想区域ごとに①高齢者救急・地域急性期機能、②在宅医療等連携機能、③急性期拠点機能、④専門等機能に分化するとされている。

また、より広域な観点として、①医療機関：大学病院
本院機能、②広域診療機能：高度急性期拠点機能、等が挙げられている。各医療機関は、一つの機能だけでなく複数の機能を選択し報

精神科デイケア ショートケアで健康維持を

地域で生活される当事者の方々は、近年の物価や食料費の上昇に伴い、昼食を抜いたり、安価な菓子パンなどで済ませ、栄養摂取のバランスが崩れている方がいらっしやいます。

当院の精神科デイケアでは、そのような食生活を少しでも防ぐために、毎日昼食を提供しています。更に、土曜日の午前中にショートケアを開き、調理を始めました。特別な材料や道具がなくても、安くて簡単にできる料理を練習し、休日の昼食準備を自分で行うことができるようになることを目指しています。

これまで、煮込みうどん



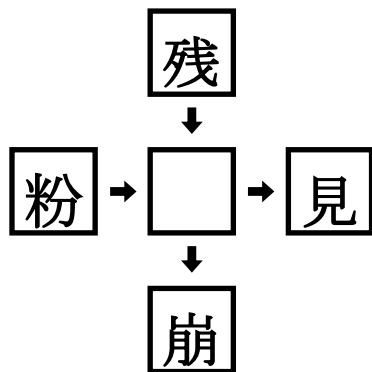
デイケアルーム

んやちらし寿司、ボロネーゼ他を作ってきました。

調理の経験の有無は問いません。ご興味のある方はぜひ、主治医またはデイケアスタッフにお声がけください。



真ん中の□に当てはまる漢字を考え、4つの二字の熟語を完成させてください。



※答えは最終ページ、編集後記の下にあります。

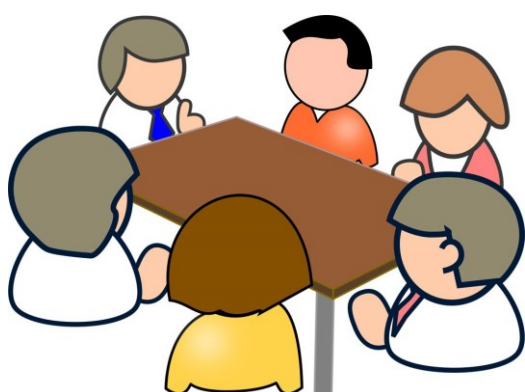
社会制度で安心 ⑫ 豊科病院家族会「心の友の会」

「家族会」は社会制度ではありませんが、当院の家族会をQ & Aでご案内をいたします。

Q:そもそも家族会って何？

A:精神障がい者の家族会は、精神疾患や障がいのある方のご家族が、お互いに同じ悩みを話し合い、お互いに支え合い、情報を交換しながら成長を図っていく集まりです。そして、学習や情報交流などを通じて、精神保健福祉の知識も得ます。

一口に「家族会」といっても、さまざまな家族会があり、認知症の家族会やアルコール等依存症の家族会など、疾病や障がい別の家族会もあります。全国に病院家族会は200、地域家族会は1200あるといわれています。



Q:豊科病院の家族会はいつからあるの？

A:豊科病院の家族会は、城西病院の家族会より名称をいただき、平成7年度に城西病院の家族会と同じ名称『心の友の会』として発足いたしました。当時は年に1〜2回の活動をしておりましたが、平成13年度からは年4回の定例会を欠かさず開催しています。

Q:豊科病院の家族会の活動は？

A:『ちよつと学習会』と『茶話会』という二つの企画を柱に活動しています。

前者の『ちよつと学習会』は、その名の通り、「ご家族が気軽に短時間学習していただく企画です。その内容は、①グループホーム・地域活動支援センター・就労継続支援施設等の地域の福祉施設の見学会、②障害年金・障害者手帳・障害者自立支援法といった社会制度の学習会、③うつ病統合失調症など精神科疾病や障がいの学習会、④シンポジウム・フェスティバルといった地域のイベントへの参加、などが挙げられ、院内に留まらず、家族会会員の皆さんで外出し、学習する機会が増えています。また、老人施設の見学や認知症予防の学習会など、「ご家族自身の健康維持を目的とした企画も行われ、その活動は多岐に渡ります。

家族会活動で得た情報を、「ご家族や当事者の方々が自由に選択そして活用され、実際に見学した施設に

通所され始めるなど、家族会の企画が利用へと結実することもあります。

なお、平成30年度には、豊科病院の家族会が市議会に対して、制度政策の改善を求める陳情を行い、本議会で採択されました。「ご家族の生の声が、市政を動かすに至ったこの活動は家族会ならではのものです。

また『茶話会』は、ちよつと学習会の後、「ご家族同士の交流を深める場ですが、話題が盛り上がるひと時になっています。更に、毎年1月には『新年会』と称して、家族の皆さんで会食する懇親会も恒例となっています。

Q:運営はどのように？

A:本来家族会は一般的には「ご家族が主体となって運営されるべきものですが、その運営が「ご家族の負担となつては意味がありません。そこで、当院の家族会では毎年の総会において、会長や副会長といった役員は置かず、事務局が運営する」と採決されています。

なお、家族会の事務局は、院内のソーシャルワーカーが担当しておりますが、家族会は独立した組織ですので、事業は豊科病院とは切り離したものになっています。会計も会員の方々の年会費500円で運営しています。

○今後の活動は？

A 以前は家族会の方々が数年に一度、豊科病院の院内や敷地を見学され、「家族の視点で院内及び駐車場の改善点などを、病院長へ要望書を以て提言し、病院と家族会が一方通行にならぬよう相互な関係作りを図っていました。今後もそういった活動も予定しています。

●入会のお誘い

現在、家族会の会員は10名前後です。「家族同士で一緒に学び、そして交流を深める」「家族同士の時間」を一緒に過ごされませんか？当家族会への入会をお待ちしております。

問い合わせ先：豊科病院 相談室

外来 医師担当表

令和7年2月1日現在

	月	火	水	木	金	土
内科	休 診	休 診	休 診	信州大学 病院 医師	休 診	休 診
精神科①	なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	にしぎと よしあき 西里 吉昭 医師	ごみぶち みつのり 五味洸 満徳 医師	おかざき たかし 岡崎 隆司 医師 ※	なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	ごみぶち みつのり 五味洸 満徳 医師
精神科②		なかむら ちえみ 中村 千恵美 医師			なかむら ちえみ 中村 千恵美 医師（新患）	
◎ 受付時間 午前 7:00～正午 ◎ 診療時間 午前 9:00～終了まで ※木曜日の精神科は、午前 9:30～診療開始 ○ 午後は全科休診となります。 ○ ご不明な点は受付へご確認ください。 ○ 日曜・祝日は全科休診となります。 お問い合わせ先…Tel0263-72-8400						

●編集後記●

比較的暖かかった1月下旬から一転、2月に入りたびたび寒波が到来し、寒い日が続いていますがいかがお過ごしでしょうか。

大北地域では近年稀にみる降雪量で、八方尾根スキー場上部では積雪が約6mに及んでいるとのこと。安曇野市内は雪が舞う程度であり積雪はありませんが、日陰や積雪の多い地域に行かれる際はご注意下さい。また、この寒さや乾燥によりインフルエンザや新型コロナウイルスが、まだちらほら見られているようですので、手洗い、うがい、手指消毒などをして、体調管理にも十分気をつけましょう。

※表題「雪がた」について

春から夏にかけて北アルプスでは様々な雪形が見られ、当院からは常念岳の常念坊や、蝶ヶ岳の蝶などの雪形を正面に望むことが出来ます。雪形が季節の変化に合わせて融けるように、患者様の病も融ける・・・表題にはそんな願いが込められています。また、表題の写真は当院屋上から撮影しました。